

花の苑タイムズ

高崎健大学生が施設見学

(薬学部)多職種の関わりなど学ぶ

高崎健康福祉大学薬学部(薬学部)の学生約九十名がこのほど、施設見学のため高崎市の苑を訪れました。同大学の施設見学は、平成二十九年度から開講がスタートした薬学部二年生に対する「医学品情報学(社会と薬学)」の中で、地域包括ケアシステムにおける薬剤師の役割について考えることを目的に実施されたもので、昨年に続き二回目となります。



施設見学は六月十四日と二十一日の二日間に行われ、最初に当施設の特徴や地域での役割等について施設長から包括的説明を行った後、施設内部の見学を各主任の案内で実施しました。学生たちは、各ユニットなどを見学する中で、主にご利用者の生活の様子や働く多職種の関わりなどの他、質問などを通じて薬の管理や服薬方法などを学びました。

平成30年7月10日発行
第46号
〒370-0002 高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211
社会福祉法人健生会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

苑内トピックス

採用活動委員会が新たに発足

高崎花の苑の各種委員会にこのほど新たに「採用活動委員会」が加わりました。

これは二〇二五年に向けての課題とともに、喫緊のテーマでもある介護人材確保が社会問題となる中、課題解決の糸口として現場を知るスタッフの参加による新たな取り組みが必要との視点に立ち、スタートを開始したものです。

ぐんま介護人材育成宣言制度の認定へ

高崎花の苑は、このほど群馬県が実施する「ぐんま介護人材育成宣言制度」に参加し、育成宣言事業者の認定に向けて現在取り組んでいるところ

ですが、こうした取り組みと合わせ更に、法人理念の実現と持続可能な施設経営に邁進して行きます。

として同中の二年生を受け入れてきました。こうしたこれまでの経緯と地域連携の一環で実施に至ったものです。

毎日暑い日が続いています。体調管理だけでなく、食中毒などの食品管理にも気を付けたいですね。

すこやか
生活日記

【地域交流作品展】
現在展示中の地域交流作品展は、市立中尾中学校美術部生徒・1、2年生による「油絵作品展」です。



食中毒を防ぐために、また購入した食材を無駄なく使うためにも適した方法で保存しなくてはなりません。今回は野菜の保存方法のポイントを紹介したいと思います。

野菜は成分の8割が水分です。水分が失われると品質の低下につながります。蒸気を防ぐためにラップやポリ袋に包み保存しましょう。特にカットした部分からは老化が進むためしっかりと包みます。夏野菜のナスは冷やし過ぎると実が縮んでしまうため注意が必要です。ピーマンは傷みの原因となる水気をしっかりと取り保存します。青みの残っているトマトは常温で置き、熟すのを待ちましょう。(管理栄養士)

【六月交流イベント】
六月は高崎室内楽の会による弦楽器の優雅な演奏の他、「ハワイアンギター」「歌声カフェ」「オカリナ演奏」そしてフラダンスなど多彩で賑やかな交流イベントが開かれました。



【30年度やるベンチャー】
過日実施した高崎市・やるベンチャーウィークでは、中尾中学校二年生六名が高崎花の苑で五日間の職場体験を行いました。

このほど中尾中学校より、参加した生徒六名の職場体験を綴った「感想文集」が届けられましたので紹介します。

寄稿

「再び、家庭の役割を思う」

秋山末司

「母ちゃん、算数のテスト百点だったよ」「そう、お前が百点とれたんじや、テストが簡単でみんなが百点だったんだろー」

学校は、知識や技能を身につけさせたり、考える力をつけるための直接的な指導をします。が、家ではそれができません。

しかし、家でできること、しなければならぬことが、テストの点をめぐる「会話」の中にもあります。

子供の成長への配慮

算数のテストで百点取れたことを、テストが簡単だったからとするか、頑張ったからとするかは、子どもの知的な成長だけでなく、人間的な成長にも大きなかわりがあることなのです。

とれたというその逆は、難しかったから五十点しか取れなかったということになってしまいます。ここでは、しっかりと学力をつけることが人間的な成長を図るという考えがどこにも見当たりません。

また、しっかりと学力をつけるための基礎となる、人間的な力を高める配慮も見られません。やはり、百点のテストを見せたら、「先生や友だちの話しを良く聞き、集中して勉強したからなんだね。がんばったね」とその努力に対し、過度に褒める程度に賞賛の言葉をかけてあげたいものです。

家庭こそ人間教育の礎。家庭とは、本来、家族みんなにとって、思いやりと温もりがあり、冷たさのない安住の場であるべきなのです。

また、互いの非を正しく指摘し合ったり、努力を助長し合う場であるはずです。ましてや、知的な面でも心の面でも成長過程にある子どもにとつ

て、そのような家庭の環境がどれほど大事なものは、言わずと知れたことです。

(社会福祉法人 健生会 理事)

雑感手帖

加藤和昭

いったったでしようか。オシムだかザンケロニだか雑誌に書いてありましたが、日本サッカーはテクニカルでスピードも速い。但し、現代サッカーにおいて不足しているものがある。それはクリエイティブ「創造性」だ。何だかわかる気がしますが、サッカーだけの話ではありません。しかし発想が乏しい上に、自発性も低い。したがって受け身になる。それではクリエイティブは生まれない気がする。

トータルフットボールを体現したフライング・ダッチマンは言いまして、一月並みなやり方をするのであれば、自分のアイデアと心中する方

がマシンだ。彼が理想主義者であり、現実主義者でもあったことは何となく知っています。「一〇〇よりも五〜四で勝つことを望む」「勝てない相手ならば、負けないように確実に戦うのだ」

選手、監督、ゼネラルマネージャー等の経験を持つことから、さまざまなる事柄をフットボールに絡めて定義します。経験と創造性に基づいていることから含蓄を感じます。

【30年度やるベンチャー】
五月二十一日から二十五日までの五日間、やるベンチャーウィークとして大変お世話になりました。そして、感謝申し上げます。

二年二組 高橋力生
僕は職場体験をして、コミュニケーションを積極的にとらなければ、仕事をしていくのは難しいということを一番に感じました。その中で職員さんがご老人の状態に合わせて対応している行動を見て、相手の気持ちを考える、小さいようで大きな気遣いをしなければなら

【30年度やるベンチャー】
このほど中尾中学校より、参加した生徒六名の職場体験を綴った「感想文集」が届けられましたので紹介します。

二年六組 河合飛燕
やるベンチャーで、職場体験をさせていただいてありがとうございました。加藤さんをはじめさまざまな職員の方から教えていただいたことは、今後の僕の糧にしていきたいと思えます。

また、職場体験で一番印象に残っていることはお風呂見学です。はじめ

て見た時、お湯の温度を職員の方がとても気を付けてながら見ていたのですごく気を配っているなと感じました。

それに、施設のいたるところに手すりがついていたので安全にも気を付けていることがわかりました。本当に一週間お世話になりました。

二年六組 中村心春

この前は、特別養護老人ホーム高崎花の苑で貴重なお仕事を体験をさせていただきました。ありがとうございます。ございました。私にとり、とても素晴らしい経験となりました。

最初の「介護士」のイメージといえば、一日中休む暇なく老人のお世話をし、疲れが溜まってしまおうというのしかありませんでした。ですが、実際にやってみるとそんなイメージは消し去られ、老人と楽しくお話しをし、老人ホームでの生活をすこしでも自分の家にいるように近づけようとする思いがある偉大な

お仕事をのだと気づきました。

ですが、やはりやるべしやべつたらしいのか「言葉が聞き取れなかった場合は、どう答えたら正解なのか」分りませんでした。私が答えられなかった時の老人の顔をみた時、成し遂げられるか心配になりました。ですが、五日目には自分から話しかけることが出来ました。これも、この仕事を体験したからできるようになったのです。気持ち言葉をいくつ伝えても、全ては伝わらないほどの感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。

二年一組 戸部小梅

五月二十一日から二十日までの五日間、やるベンチャーで大変お世話になりました。初日は緊張と不安でいっぱいでしたが、皆様の笑顔と優しいさのおかげで楽しい五日間になりました。また、とても貴重な体験をさせて

いただきました。

内容は主にユニットの方々の会話やお茶出しなどで、会話中ではたくさんのお見やめや勉強になることを聞かせて頂きました。お茶出しでは「どうぞ。」と言うと、「ありがとう、ありがとうございます」と何度も言うて下さる方がいて、すごく嬉しかったです。

また、シート替えや車いすの試乗、プランターの苗植えはとても楽しかったです。シート替えは大きな力が必要で大変でしたが、「上手だね」や「もう一人でできるの。すごいね」などと声を掛けていただけて自信になりました。

五日間という短い間でしたが、その中は濃くて大切なものになりました。この体験を通して、これからの生活や将来の仕事に役立てたいと思います。ありがとうございました。



ユニットだよりの

「中華セット完食？」

Gユニットではこのほど、ショートステイと合同で外出行事を実施しました。参加されたのはGユニットS様、ショートA様で、今回は「餃子の王将」へ行ってきました。S様は以前から、テレビ放映でラーメンなどが映ると釘付けになり、よく「中華が食べたい」と言われていました。またS様もともとラーメン好きで、外食はもっぱら中華店が多かったとか。

お二人ともこの日の外出まで、カレンダーを見ながら「あと何日だ？」などととても楽しみにされていきました。当日は生憎の雨が降りましたが、



お二人の執念(?)で出発を決行。施設から車で数分のお店に到着しました。

A様はラーメンと餃子そしてチャーハンのセットを、S様はラーメンと餃子のセットをそれぞれ注文され、さすがに完食とまでは行きませんでした。その食べっぷりに同行した男性職員を驚嘆させました。

外食行事から施設に戻られると「今日は最高だった」「お腹いっぱい」とお二人とも嬉しそうに語っていました。

「回転寿司でかき氷」

利用者様のかねてからの希望もあり、このほど外出行事を行いました。今回は施設からほど近い回転寿司店が目的で、参加されたのはEユニット・伊藤ひろ子様、Fユニット・内田美恵子様、そして、当日九十三歳の誕生日を迎えられたEユニットの三木千枝様です。職員二人が同行しました。



回転ずしと言え、皆さんが家族で行ったそれぞれの思い出があると思えますが、最近の回転ずしのメニューはだいぶ趣が変わっていて、中華もあり洋食もありで、はたして寿司屋なのか疑うほどです。この日もある方は、たくさんの種類の寿司には目もくれず「かき氷」「コロッケ」を注文されたいました。

皆さんそれぞれ好きな物を食された後、最後の仕上げに「かき氷」を注文。やはり最近の暑さには本来の食欲も今一つだったかも知れません。それでも最後は「美味しかった。また行きたいね。楽しみにしているね」などと話されていました。(E・Fユニット I)

ユニットだよりの

「笑顔のアイスカフェ」

記録的な速さで梅雨が明けた六月。早くも真夏日が続く中、利用者様のリクエストもあり、Aユニットおよびショートステイでアイスクリームパーティーを開きました。

当日は、アイスクリームにカラフルなフルーツやチョコレイトなどを盛付けて頂き、それぞれ好みの一品を楽しんで貰いました。

その他、ソフトクリームやカップアイスが好まれる方もいて、それぞれ見た目も美しく美味しそうな「作品」ばかりで、それだけ皆様の期待が思いのほか大きかったようでした。



召し上がっていただいた後は、抹茶オレやコーヒなどお出しして「午後の花の苑カフェ」を堪能して頂きました。

「た」焼きで食欲増進

毎日、暑い日が続く食欲も減退してしまうこの時期に、皆さんが好きで食欲が進むものは、と考えた末「た」焼きパーティーを行いました。たこ焼きは、色々な都合上自身はタコではなく、コーンやチーズにしました。



ユニットだよりの

「暑さ忘れ釣りゲーム」

七月に入り、暑い日が続いたり雨が降ったりと気温の変化が激しい日々が続いています。

Dユニットでは、六月末に「釣りゲーム」を行いました。先ず新聞紙を筒状に巻いて、その先にたこ糸を付け釣竿を作り

中、リビングではクルクルとまわるとかわいたこ焼きがあつという間にお皿一杯作られ、目でも楽しんで頂きました。美味しい匂いが立ち込める中、いよいよ完成！皆様に召し上がっていただく「美味い！」と、ペロりと完食され、おかわりをされる方もおられました。

今回もB・Cユニット利用者様が集まり、みんなでワイワイ賑やかに楽しい時間を過ごして頂くと思えます。まだこれから暑さが厳しくなりますが、元気に過ごして頂けるよう職員一同しっかり支援していきたく思います。

(B・Cユニット K)

七月に入り、暑い日が続いたり雨が降ったりと気温の変化が激しい日々が続いています。

ユニットだよりの

「初の挑戦調理レク」

今回、ユニット行事では初の挑戦で「豆腐ドーナツ」づくりを行いました。リビングのテーブル

には、それぞれの材料が並び、それを見た利用者様は口々に「なにを作るの?」「美味しい物?」などと完成前から盛り上がりを見せていました。

利用者様にもお手伝いいただき、いざ調理を開始。岡田俊子様は現役の主婦の頃のように、ホットケーキミックスをこねたり、フライパンに生地を伸ばしひっくり返したりと、見事な手さばきを見せていました。

各テーブルに香ばしい匂いのドーナツが並び、早速食して頂くと、皆様から「美味しいね。簡単これだけのものが出来るんだね」などと会話がはずみ、リビングでは皆様の声で大いに盛り上がりを見せていました。

(H・Iユニット A)

今回、ユニット行事では初の挑戦で「豆腐ドーナツ」づくりを行いました。リビングのテーブル



委員の一言メモ

★先月から委員会に所属し、今月号から初デビューです。どうぞよろしくお願ひします(貴)★ペランダの花や野菜たちがかなり成長してきました。これからも、元気に育ててくれるよう、見守っていきたく思います(奈)★本格的な夏が始まったので、利用者様の体調管理に気をつけていきたいと思ひます(明)

★ユニットの外出行事を通し、当然ではありますが大変な喜びなのだと思ひました(義)★ユニットでは初めての料理レクでしたが、「また、やりたい」との声が多数あり、次回ももうご期待です(章)★中華店への外出行事は、皆さん大変喜んで頂き、大成功でした(羽)★最近ユニットで行事のときの写真が飾られてるのを目にするようになりました。利用者様や職員の良い写真ばかりなのでつい足を止めて見てしまいます(美)

ユニットだよりの